



# 羅臼町議会だより



# しれとこ

第3回定例議会 .....	2～3
一般質問 .....	4～6
Zoom up! .....	7
委員会サロン（議会広報研修会・町内視察） .....	8～9

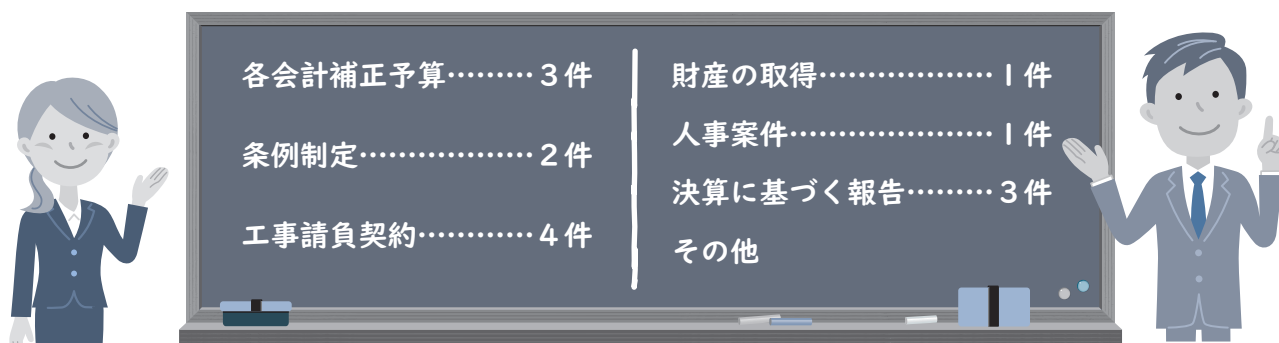
令和5年  
**第176号**  
 11月10日



羅臼町敬老会・高齢者のつどい

# 8月7日 第3回臨時議会 9月12日 第3回定例議会

去る8月7日、令和5年第3回臨時議会、9月12日～15日、第3回定例議会が行われ、各会計補正予算、人事案件1件、決算に基づく報告、条例制定、工事請負契約の締結、財産の取得等すべて原案通り可決した。



## 令和5年度一般会計補正予算

補正額 **2億4,271万円** 総額 **58億4,896万円**

総務費	庁舎修繕費	53万円
	消防事務組合負担金	59万円
	財政調整基金積立金	1億9,000万円
	電算システムに要する経費	272万円
防災費	防災対策に要する経費	90万円
社会福祉費	障がい者自立支援事業に要する経費	170万円
	介護保険事業特別会計繰出金	△58万円
児童福祉費	子育て支援に要する経費	△10万円
	保育事業に要する経費	83万円
	児童手当に要する経費	△40万円
衛生費	予防接種に要する経費	943万円
農林水産業費	水産振興に要する経費	100万円
教育費	小学校に要する経費	58万円
	幼稚園に要する経費	459万円
	スキー場に要する経費	20万円
商工費	新型コロナウイルス対策に要する経費	3,070万円

## 令和5年度国保会計補正予算

補正額 **814万円** 総額 **9億7,453万円**

積立金	国民健康保険財政調整基金積立金	814万円
-----	-----------------	-------

## 令和5年度介護保険会計補正予算

補正額 **1,456万円** 総額 **4億9,750万円**

総務費	介護保険業務に要する経費	△58万円
	国庫負担金等返還金	1,514万円

令和4年度決算に基づく資金不足比率  
(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
水道事業会計	-	
経営健全化基準	20.0	

令和4年度決算に基づく健全化判断比率  
(単位：%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和4年度決算	-	-	7.7	-
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

## 人事案件

羅臼町教育委員会の委員に次の者を任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第一六二号）第四十一条第一項の規定により、議会の同意を求めます。

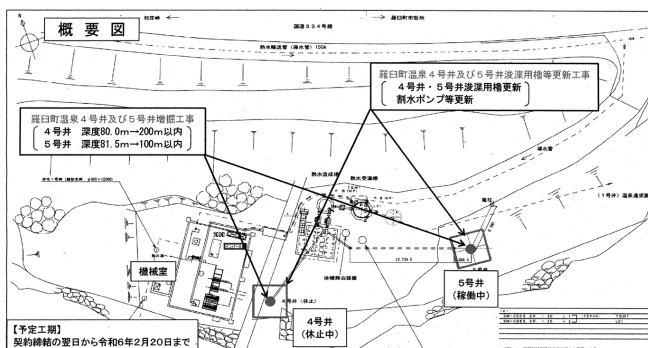
住所 北海道目梨郡羅臼町 栄町一〇〇番地六十  
六  
氏名 小林 真裕子  
任期 令和五年十月一日から令和九年九月三十日まで

## 財産取得

〈取得物件〉  
眼底カメラ付光干渉断層計  
〈取得の目的〉  
医療機器更新のため  
〈取得価格〉  
八、五八〇、〇〇〇円  
〈取得の相手方〉  
北海道釧路市愛国東二丁目一番十七号  
株式会社 メディカル  
代表取締役 渡邊 浩往

## 工事請負契約締結

〈契約の目的〉  
羅臼町温泉四号井及び五号井増掘工事  
〈契約の方法〉  
一般競争入札  
〈契約金額〉  
七二、〇五〇、〇〇〇円  
〈契約の相手方〉  
札幌市豊平区平岸一条八丁目二番三十号  
株式会社 ドリリング計測 厚  
代表取締役 宮田 厚



〈契約の目的〉  
羅臼町温泉四号井及び五号井浚渫用櫓等更新工事  
〈契約の方法〉  
一般競争入札  
〈契約金額〉  
五〇、八二〇、〇〇〇円  
〈契約の相手方〉  
札幌市豊平区平岸一条八丁目二番三十号  
株式会社 ドリリング計測 厚  
代表取締役 宮田 厚



温泉施設

〈契約の目的〉  
知床らうす国民健康保険診療所スプリンクラー改修工事  
〈契約の方法〉  
一般競争入札  
〈契約金額〉  
八五、八〇〇、〇〇〇円  
〈契約の相手方〉  
北海道釧路市芦野五丁目十五番八号  
池田煖房工業株式会社 支店長 東 智也

〈契約の目的〉  
羅臼町図書館移転改修工事  
〈契約の方法〉  
随意契約  
〈契約金額〉  
五九、四〇〇、〇〇〇円  
〈契約の相手方〉  
島影・小野経常建設共同企業体  
〈代表者住所〉  
北海道野付郡別海町別海十九番地四十三  
島影建設株式会社  
代表取締役社長 島影 輝雄

9月定例議会

町政を問う

一般質問

令和5年度第3回定例議会の一般質問は9月12日に行い、3名が7件の質問をして町長の考え方を問いました。(記事の内容は要点を記載しています)

加藤 勉議員



子育て支援について

質問

羅臼町の人口は年々減少を続け、産業振興に大きな影響を与えている。

若者が地元で定住できる生活環境の充実が必要と考えるが、以下二点について伺う。

- 一、学校給食費の無料化
- 二、妊産婦に対する支援

学校給食費の無料化

石崎教育長 給食費の無料化については国の動向を注視していく

石崎教育長

学校給食法の趣旨から、食材等の経費は原則として保護者が負担するとしております。

北海道の調査で、道内の三十三市町村が、学校給食費の無料化に取組み、保護者の負担軽減を実施していると聞いています。

教育委員会では、必要と認める保護者に対して給食費の援助を行っており、引き続きこれらの取組みを進めるとともに、国の動向に注視して進めてまいります。

子ども三人の一カ月の給食費は約一五、二〇〇円程になり、物価高を控え家庭の負担は大きくなってきている。他町では様々な取組みを行っているところがあります。

再質問

再質問

子ども三人の一カ月の給食費は約一五、二〇〇円程になり、物価高を控え家庭の負担は大きくなってきている。他町では様々な取組みを行っているところがあります。

当町でも全額無料か、幼稚園の無料、あるいは三人目の児童の減額も必要ではないのか。

湊屋町長

子育て支援策としては、十八歳までの医療費無料化を実施しました。給食費については、国の

動向を注視しなければならぬということから、現在、検討課題として議論されていません。

妊産婦に対する支援

湊屋町長 今後、安心して出産・子育てができるよう環境整備を進めていく

湊屋町長

町内には産科医療機関がなく、町外の医療機関で出産しています。

今年から低所得妊婦初回産科受診料の助成を開始しました。更に天候不良のためやむを得ず宿泊が必要になった方の宿泊費助成も実施しています。

今後、町内で安心して妊婦期から出産後、子育て期を過ごせるよう環境整備に努めていきます。

野遊びフィールドの周辺整備について

質問

昨年、旧スキー場跡地に

オープンした「グランピング」(道具の要らない豪華なキャンプ場)について、利用実績と今後の周辺整備について伺います。

湊屋町長 推進協議会や運営事業者との協議により、必要に応じて整備していく

湊屋町長

令和四年度のキャンプ場の利用者は六十日間の開設で宿泊者三十七名、デイ利用二十四名です。令和五年度は七月一日にオープンし八月三十一日現在、宿泊者一六名、デイ利用は二回で十四名です。六月十日にオープンしたカフェは、二〇〇名以上の利用実績があります。

今年度は、トイレ、シャワー等を備えた管理棟の増改築や水道設備の整備を予定しています。

令和六年度以降は、推進協議会や運営事業者と協議して整備していきます。

浜岸 昭仁 議員



原発処理水放出による風評被害について

質問

羅臼町ホタテ漁業者におきましては、ホタテの価格下落や昨年までの取引業者への輸出停止など多大な被害が出ていますが、国に対して補償などの要望をしていく考えはありますか。

湊屋町長 国への支援を求めています

湊屋町長

東京電力福島第一原発のアルプス処理水放出に伴い、中国が日本産水産物の輸入を全面停止したことを受けて、政府は、既に基金として設けている八〇〇億円を含む総額一、〇〇七億円の

対策を講じる方向性を示しており、「国内消費拡大・国内生産維持、輸出先転換、国内加工対策の強化」などを柱に、対策を講じた上で生じる被害については東電が賠償するものとしています。

国内での「国別・水産物輸出額」の状況を見たときに、輸出相手国は中国を筆頭に香港が続きます、これら各国での日本からの輸出水産物の取り扱いには、ホタテ・ナマコが半数を占めている状況にあります。

町内でも養殖や潜水によるホタテ貝などの出荷が本格化しようとする中において、羅臼漁業協同組合や近隣町とも情報の共有を図っておりますが、アルプス処理水の放出に起因して、禁輸措置を打ち出していない国の輸出相手先において、これまで円滑に行われてきた取引交渉に不具合が生じているということ、非常に危惧される事態と捉えております。羅臼漁業協同組合

にも実態の把握を依頼しており、更にこの先において、実害を伴うとすれば、北海道をはじめ関係機関と連携を図る中で講じられる対策がないか検討をしております。

岸田首相は、ホタテなど、特定の水産品、特定の地域に集中的かつ甚大な影響を与えていることから、北海道への対策を強化する考えを示しておりますが、国内水産物の最大の輸出ルートが閉じられたことで、早くもこうした事態が生じており、関係する産地とも連携を図りながら適切な支援がなされるよう国に実態を報告し、対応策を求めています。

更に申し上げますと、時間が経過する中で、特定の水産のみならず、漁獲最盛期を迎えた秋サケをはじめとする各漁獲物にも影響が拡大する懸念があり、これらの実態把握にも努め、地域経済への影響を最小限に抑えられるよう、町内の関

連事業者にもご協力を仰ぐとともに、関係機関や北海道との連携の下で、有効な対応策を早期に検討し、国への支援を求めています。

消防車の老朽化について

質問

当町に配備されている消防車は、修理を重ねながら何とか出動可能な状態を保っております。緊急事態が発生した際、故障により動かなくなる可能性が高くなっているようですが、購入する予定はありませんか。

湊屋町長 適切な時期の事業計画予算化を進めて行きたい

湊屋町長

羅臼消防署には、タンク車二台、救助活動が可能なポンプ車一台、救急車三台、現場指揮車一台、消防団員が運用する普通ポンプ車一台、小型ポンプ積載車五台を整備指針により配備、運用しております。

羅臼消防署独自の車両更新計画では、ポンプ車を二十六年、消防団車両は二十二年、救急車は十六年としていますが、過去より車両の長寿命化を促進、実施する事により、配備から既に三十年を経過している車両もありますが、消防職員による日常点検、定期点検及び走行点検をはじめ、車両状態の把握と維持管理に重点を置き、消防車としての機能を損なうことなく、環境に配慮した車両運用を持続しています。

最も重要とされるポンプ装置は、専門業者による二年毎の保守点検を受け軽微な故障には即時対応しており、火災出動での活動には影響ありません。

車両メーカーによる部品供給についても、現在のところ問題ないとの事ですが、今後も車両更新計画を定期的に見直して、新型車両の導入について適切な時期の事業計画、予算化を進めて行きたいと思っております。

山下 竜哉 議員



### 防災無線の活用について「災害時の第一報」

質問

令和五年七月二十九日土曜日の正午に海岸町以北で停電が発生し、昆布漁最盛期の真っ只中に、一時間以上に渡り何の情報も無いまま不安を抱えながら仕事に従事しておりました。

時期や災害の種類を問わず防災無線での第一報は、一秒でも早く町民に知らせる事が重要と考えますが、今後の対応についてお伺いします。

**長屋町長**  
できる限りの情報を迅速且つ適切に周知する

**湊屋町長**

停電発生時は役場閉庁日の土曜日という事もあり情報収集が遅れが生じ、第一報の周知が停電発生からおよそ一時間十五分後という結果となっていました。議員ご指摘のとおり、電力は町民生活にとって欠かす事の出来ない重要なライフラインでありますので、計画的行動が取れるよう把握できる限りの情報を、迅速且つ適切に周知するよう努めてまいります。

### 熊の出没地域情報について防災無線の活用

質問

羅臼町内全域で熊の出没が確認されています。町民の皆様は乏しい情報の中、大変不安な日々を過ごされています。安全面からも防災無線を活用し、熊出沒情

報を逐一周知される事は可能でしょうか。お伺いします。

**長屋町長**  
情報の共有と連携対策や啓発の向上

**湊屋町長**

熊の出没件数は例年と比べて非常に多く、九月五日時点で既に二三三件の対応に当たっており、捕獲数も二十七頭に上り、これは二〇一二年の大量出没に匹敵する勢いがあります。現在防災無線で熊出沒情



報の発信は行っておりません。理由としては、対応件数の多さや住民間での情報の錯綜を招き混乱が予想されることから、対策活動に支障をきたす恐れがあるためです。一方、対策としては、二十四時間体制での対応を整えており、住民からの情報提供により有効な対策につながっております。これらの情報は「熊日報」として記録され、関係機関とも共有を図っており、出沒地周辺の住民には状況を

説明し注意喚起をしております。通学路近傍で出沒が確認されれば町教育委員会を通じ学校へ情報を提供し、羅臼駐在所とも連携を図りながら安全確保に努めてまいります。

羅臼町のホームページ、広報紙や新聞等においても熊出沒の情報を掲載し町民の皆様へ周知し、重大な被害が発生しない様に対策や啓発の向上に努めてまいります。

# Zoom up!



## 議員報酬の見直しを考える!!

議会改革特別委員会では、令和五年三月七日開催の第一回定例会に最終報告書を提出し四件の提案をしています。

その一つに議員報酬の見直しを提案しています。

現在、議会議員の報酬は議長は二二二、〇〇〇円、副議長一七八、〇〇〇円、委員長一五九、〇〇〇円、議員一四六、〇〇〇円で、平成十七年に改正されて以来、見直しがされていません。

全道平均月額報酬一八一〇円より、三五、八一〇円少なく、更に、根室管内三町の平均額より五

五、〇〇〇円低額となっています。

羅臼町の議員報酬が大幅に削減となった理由として主要産業である漁業の不振によるところが大きく、財政危機を乗り越えるため、平成十七年に中標津町との町村合併を協議しましたが、

破綻し、大幅な議員報酬の削減と議会議員定数の削減も図りながら自立の道を歩み、既に十八年を過ぎ、財政危機も乗り越えてきています。

平成三十一年三月に発表された「町村議会議員の議員報酬等のあり方」において、議員のなり手不足と報酬について、「小規模市町村において、それだけでは生計を維持できない程の低水準であり、そのことが議員のなり手不足の要因である」と指摘しています。

さらに議会活動が増大すれば、従来町村議会議員の担い手であった農林水産業の従事者や自営業者の参入は困難になり、そこで、企

業や自治体職員の定年退職者が増加することにより平均年齢が上がっている要因になっていると指摘しています。

志あるサラリーマン等が立候補を検討しても、議員報酬の低さや将来の不安（厚生年金に加入できないこと等）から家族の反対により断念した事例、若くして議員になった者が、子供の養育・教育費を賄えないとの理由から議員を続けることを諦めた事例などがあると紹介しています。

当町の議会においても、今回の議会議員選挙で、新たに当選した若い議員も出てきています。地域の課題解決の為、若い方や女性議員の活躍が期待されています。

羅臼町議会では、このたび議員報酬の引き上げについて要請を行っています。町民皆様のご理解をお願い致します。

広聴広報常任委員会  
委員長 加藤 勉

委員長 加藤 勉

月 額 報 酬

摘要年月日	議 長		副 議 長		委 員 長		議 員	
	報酬額	比 較	報酬額	比 較	報酬額	比 較	報酬額	比 較
平成9年4月1日	306,000		245,000		219,000		193,000	
平成15年1月1日	299,000	-7,000	240,000	-5,000	214,000	-5,000	189,000	-4,000
平成15年12月1日	278,000	-21,000	223,000	-17,000	199,000	-15,000	185,000	-4,000
平成17年4月1日	222,000	-56,000	178,000	-45,000	159,000	-40,000	148,000	-37,000

議員定数の推移

年	定 数
平成3年	18
平成11年	16
平成19年	10

全道平均月額報酬

区分	議 長	副議長	委員長	議 員
最高額	397,000	321,000	290,000	281,000
最低額	191,000	142,000	132,000	123,000
平均額	268,742	214,990	195,576	181,810

根室町村議会 議員定数・報酬一覧

区 分	別 海 町	中標津町	標 津 町	羅 臼 町
人 口	14,982	23,377	5,211	4,969
議員定数	16	18	10	10
人口/議員定数	936	1,299	521	497

年 額

区 分	別 海 町		中標津町		標 津 町		3 町 平均年額	羅 臼 町 報酬+手当	3 町 平均との差
	報酬+手当	羅臼町との比較	報酬+手当	羅臼町との比較	報酬+手当	羅臼町との比較			
議 長	5,202,765	1,883,865	5,197,104	1,878,204	4,876,263	1,557,363	5,092,044	3,318,900	-1,773,144
副 議 長	4,182,615	1,521,515	4,161,080	1,499,980	3,913,539	1,252,439	4,085,744	2,661,100	-1,424,644
常任委員長	3,978,585	1,601,535	3,778,940	1,401,890	3,489,875	1,112,825	3,749,133	2,377,050	-1,372,083
議 員	3,774,555	1,561,955	3,396,800	1,184,200	3,082,695	870,095	3,418,016	2,212,600	-1,205,416
報酬等総計	63,045,270	38,871,120	65,617,684	41,443,534	34,672,901	10,498,751		24,174,150	

## 北海道町村議会議長会 議会広報研修会開催（札幌市）

八月十七日、札幌市ホテルポールスター札幌に於いて、「北海道町村議会議長会 議会広報研修会」が開催されました。一般社団法人自治体広報広聴研究所・広報アドバイザー金井茂樹氏による講演の主な内容と致しましては、「効果的に伝わる議会報の編集について」の講演でした。

枠組みや読者を意識した編集・構造化や表現方法等すぐに回答できそうな具体的な内容で学ばせていただきました。

後半に行われたクリニックでは、当別町、共和町、上川町の広報誌を基に分析有効的に工夫されている表現を共有したり、今後より効果的になるための改善点を確認し合うことで、参加している各町村にも生かされる時間となりました。

当町におかれましても、



## 総務民生・経済文教 合同常任委員会 町内視察

### 視察の日程

十月二日、町内に於いて総務民生常任委員会と経済文教常任委員会合同による町内視察を行いました。各委員会から希望をとり、合計十二ヶ所の視察となり、担当課のご協力の下、スムーズに進めることができました。現場の状況を見ることや、担当職員による改善面や課題面を知る事で、より知識が深まり、今後の方向性を考えるための大きな情報を得る事ができました。

老朽化により改善が必要な施設等の課題面もありましたが、毎年改修しながら素晴らしい施設に変わり続けている場所もあり、もっと町民の皆様を知ってもらいたいと感じました。

町のために行政が努力をしているのを知る事もできますので、是非出向いてご自身で体験し、今後に繋がる声をお聞かせください。

- ① 廃網処理施設（峯浜町）
- ② 水産系廃棄物堆肥化処理施設（峯浜町）
- ③ 羅臼町郷土資料館（峯浜町）
- ④ 羅臼オートキャンプ場（幌萌町）
- ⑤ 農林漁業体験実習館・カフェテン（幌萌町）
- ⑥ 移住者住宅（麻布町）
- ⑦ 羅臼国後展望塔（礼文町）
- ⑧ 知床羅臼野遊びフィールド（礼文町）
- ⑨ 羅臼町温泉供給施設（湯ノ沢町）
- ⑩ 湯ノ沢浄水場（湯ノ沢町）
- ⑪ 羅臼町老人福祉センター（湯ノ沢町）
- ⑫ 旧知床別小中学校（岬町）



## 郷土資料館

郷土資料館では外国人来館者への対応として、展示物に備えてあるQRコードを読み込む事で、他国語での説明が聞けるアプリの活用を取り入れている。



## 羅臼オートキャンプ場

今年度から道内では珍しい炊事場にお湯が出る給湯設備を備えている。「住箱サイト」ではトレーラーハウスが1棟あり、室内から見える景色が素晴らしい。



## 移住者住宅

旧教員住宅4棟のうち2棟を残し、リフォームされた。浄化槽も設置済み。



## 知床羅臼野遊びフィールド

今後、水道設備が完備され、より快適で清潔な時間を過ごせるようになる予定。



## 羅臼町老人福祉センター(福寿園)

現在、入浴設備の老朽化が課題となっており、今後改修に向けての計画を進める予定。



## 旧知内別小中学校

現在は災害時の備蓄品を置いており、定期的に入れ替えをしている。発電機用の燃料は約1年分常備しており、地元住民の命を守るための施設として活用されている。



# 議会の動き

## 8 月

- 7日 議会運営委員会
- 7日 令和5年第3回臨時会
- 9日 広聴広報常任委員会
- 15日 羅臼町忠魂碑護持奉賛会慰霊祭 副議長
- 17日 議会広報研修会（札幌市） 議長
- 25日 北方領土返還要求北海道・東北国民大会及び啓発街頭  
行進（札幌市） 議長
- 26日 故郷札幌らうす会 交流会 議長

## 9 月

- 4日 議員と高校生との懇談会
- 6日 議会運営委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 全員協議会
- 12日 令和5年第3回定例会（1日目）
- 12日 議会運営委員会
- 13日 経済文教常任委員会
- 14日 総務民生常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 15日 令和5年第3回定例会（2日目）
- 16日 らうす産業祭第52回漁火まつり開会式 議長
- 25日 広聴広報常任委員会

## 10 月

- 2日 総務民生・経済文教常任委員会合同行政視察
- 4日 第1回決算特別委員会
- 5日 広聴広報常任委員会
- 16日～17日 ロシアトロール船操業停止要請活動（札幌市・  
東京都） 議長
- 16日 第2回決算特別委員会
- 17日 第3回決算特別委員会
- 18日 広聴広報常任委員会
- 18日 議会改革サポート会議（広聴広報常任委員会関係）
- 27日 根室町村議長会主催議員研修会（別海町）

## 11 月

- 2日 議員と高校生との懇談会
- 7日 令和5年度羅臼町高校生一日議会（2年生）
- 10日 第4回決算特別委員会（総括）



九月四日、羅臼高校二年生と議員の懇談会を開催しました。  
「高校生の一日議会」について議員と活発な意見交換などを行いました。  
十一月七日に「高校生の一日議会」が開催されました。

議員と高校生との懇談会



高齢者のつどい 九月十日



編集を終えて

今年の夏は、地球温暖化の影響で、全道各地で三十五℃を超える猛暑日を記録しました。

世界各地では、大雨による水害で多くの犠牲者も出ています。

羅臼町でも、三十℃を越す真夏日を経験するなど異常気象となった夏でした。

このため、海水温が高くなり、冷水を好む秋鮭が海面まで上昇出来ず、期待する秋鮭漁も不振となるようです。

更に、野山の果実不足のため人里に出没する熊などの野生動物が住民生活脅かす事例も例年になく多く発生しています。

人間も動物も草花も、暮らしやすい環境を作るため、地球温暖化について考えていきましょう。